



4期目も2年目を迎え、折り返しとなりました。議員としても10年を超え、2月定例会では予算委員長を務めるなど、様々な経験を通して日々多くのことを学ばせていただいています。そういった中で、価値観が大きく変わってきていることを強く感じ、自分の価値観はこれからの時代に合わないのではないかと不安や迷いを感じることもあります。インターネット上には様々な情報があふれています。中にはとても一方的な視点で、特定の人物を傷つける意図をもった意見や主張が、あたかも真っ当で「正論」のように発信されているものが見られ、恐ろしく感じる場合があります。正論とは何だろう。そう思う時に思い出すのが、あるお寺の前に貼りだされていた「正しい意見でも 思いやりがなければ いわれた人は傷つく」という言葉です。悪者を作り上げ、徹底的に叩き潰そうとする社会が本当に多様性のある生きやすい社会なのでしょうか。様々な角度から、様々な立場から物事を見て、本質を見抜く力を養っていくことがこれからの世の中にはとても重要なのではないのでしょうか。自分の中で「軸」と「筋」をしっかり持つことで、変化の激しい社会の中でも大切なものを見失わないように活動をしていきたいと考えています。これからも皆様のご指導をよろしくお願いいたします。

京都府議会議員 藤山ゆきこ



2月定例会 代表質問いたしました

※抜粋のため詳細はこちら →



1 大阪・関西万博と地域創生について

①「新たな命のありようや社会のかたち」の表現、発信、思いは？ ②一座建立に込める思いは？ ③一過性にならないために「文化」の今後の継続的取組は？

答弁

- ①古来より人や自然など様々な「いのち」を大事にし、共生する中で、奥深い文化を育んだ京都でこそ、いのちを考えるのにふさわしいのではないかと考え、期間中、京都ならではの「いのち」をテーマに3週間の展示を予定。
- ・第1週「地域の暮らしと健康長寿」（セルフケアプランの提案や長寿食の紹介など、いのちを育むことの大切さを発信）
 - ・第2週「『生と死』と向き合って」（死ぬ前に残したい言葉をメモ書きするなど、いのちと平和の尊さや「生と死」について考えることの重要性を発信）
 - ・第3週「認知症とともに未来に向けて」（認知症の方の活動を地域でサポートする取組などを紹介。開催中2日間、認知症の方が店員のカフェオープン）
- ②「一座建立」とは茶道で大切にされる精神の一つで、亭主と客が心を通わせ一体感のある心地よい空間が生まれる様を表す言葉と言われている。実演や体験イベントにおいて出展者(出演者)と来場者が交流することで、担い手の想いを強く伝えられ、多くの方が直接現地を訪れるきっかけにもなればと考える。
- ③期間中含め開催後も府内各地で様々な文化イベントを実施することで、国内はもとより海外の方々にも日本文化への理解や京都の文化の魅力を伝えていきたい。今後も文化庁や市町村、経済界、大学などと力を合わせて、京都の文化が継承されていくよう取り組んでいく。



2 宇治茶振興について

①世界的抹茶ブームの中での多くの課題への把握と今後の見通しは？ ②「京都府茶業振興計画」において目指す姿と産業の一つとしての考えは？ ③ボトリングティー京都宇治玉露「玉兎」の開発動機にもなった「お茶は無料ではない」という認識の普及、定着への効果の評価は？

答弁

- ①高齢化と繁忙期の労働力不足が進み、宇治茶の生産を維持することが困難になってきていたり、ライフスタイルの変化等で国内のリーフ茶需要が減少傾向にあるなど環境変化への対応が課題だと認識している。宇治茶の生産維持に向けては、スマート技術の導入による生産効率の向上や新たに茶業に参入する人材の確保が必要であると考え。また、宇治茶ブランドの優位性をさらに高めることや健康志向によりリーフ茶人気の高まりが期待されるEUや台湾などへの輸出拡大の取組が重要であると考え。
- ②宇治茶のブランドが薄れる危機感が示される中、今後5年間で重点的に取り組む施策として、
- ・ブランド戦略：高品質を特徴づける産地、品種、栽培方法などを要件化した新たな認証制度を茶業団体とともに構築していく。
 - ・生産戦略：基礎的な知識や技術等を学ぶ農業大学校と、経営、実地研修を経て、就農までサポートする「宇治茶実践型学舎」の研修制度を一貫体系とする新たなコースを創設していく。
 - ・普及対策：大阪・関西万博を契機に府域の京料理店や教育、文化、観光施設などと連携し、宇治茶に愛着をもつファンを拡大していく。
- ③取扱店舗数は発売当初の5倍、販売本数は約3倍になり、着実に伸びてきているが、今後は高級ギフトなど幅広いシーンで活用を広げていきたい。



3 府立高校の特色や魅力を高める環境づくりについて

①子どもたちや地域から求められる府立高校とは？ ②「基本構想」の策定への思いと整備の取り組みは？ ③生徒にとっての教育環境の整備がどのようなものと考え、また、学びの多様性への対応、質の向上をどのように具体化、検討し進めるか？

答弁

- ①子どもたちは、豊かな人間関係づくりや教育活動を通じて自身の成長が感じられることを求め、地域からは、地域創生の核としての社会的役割を果たすことを期待していると考え。
- ②高校改革を施設・設備面から実現するため、また、生徒にとって安心・安全で快適な教育環境を整備することを目指し策定するもの。
- 特色に応じた学びを実現するためにオンライン設備や多様な学びのスタイルに対応できる教室の整備などを想定。また、再編整備を進めるにあたり、必要な教室等の整備を校舎などの改修に合わせて進める。更に、空調設備やトイレについては、避難所としての役割を果たすことを視野に入れ、喫緊の課題である体育館空調の整備を国の経済対策を活用し、まずは特別支援学校2校で実施。その結果を踏まえ全体の体育館空調の整備方針等を検討していきたい。
- ③様々な教育活動を通じて、協働的な学びを基盤に地域の課題や生徒自身の興味・関心に応じた多様な学びを展開していく「学びの改革」を進める必要があると考える。そのためには一定の学校規模の維持が必要であると考え。学校が学びの場であることを第一義とし、市町村などの関係機関と必要な調整を丁寧に進めていく。普通科での改革はもとより、職業学科の充実や定時制・通信制の在り方の検討を着実に進める。



総額 1兆604億9,900万円

令和7年度当初予算 1兆298億8,100万円
 令和6年度2月補正予算(当初予算と一体的に編成) 306億1,800万円

全ての営みの土台となる「安心」

1 安心できる健康・医療・福祉

- ・福祉医療制度充実費 81億5,300万円
- ・子どもの心の診療ネットワーク事業費 1,800万円
- 初診待機期間の縮小や府内診療体制の調査・分析、診療医等の育成他
- ・小児期発症慢性疾患・移行期医療体制強化事業費 300万円
- ・京都版CDC(疾病予防センター)設置検討費 100万円

新興感染症等に備えるため、令和8年度設立を目指す都道府県と政令市で構成する地方版CDCは全国初

2 災害・犯罪等からの安心・安全

- ・衛星通信系防災情報システム整備費 14億300万円
- ・住宅・建築物耐震化総合支援事業費 3億800万円
- ・避難生活環境改善事業費 1億4,400万円
- TKB(トイレ・キッチン・ベッド)の適切な配置を推進するため備蓄体制強化
- ・災害時孤立対策強化事業費 1億6,800万円

陸路に頼らず、空路・海路による救助や支援物資輸送の体制強化
 孤立可能性地域における地域防災力の強化

- ・災害時学校支援チーム(D-EST 京都)創設事業費 100万円

D-EST(大規模災害時の子どもの学びの継続や学校の早期再開を目的とし、被災地外から教職員等を派遣する枠組み)

- ・おもてなしのまち京都あんしん見守り事業費 500万円

繁華街等に街頭防犯カメラ設置(50台)や自転車による取締小隊体制の拡充

子どもたちを育み、絆を守る「温もり」

3 子育て環境日本一・京都

- ・子育てにやさしいまちづくり推進交付金 6,200万円
- ・子育てにやさしい職場づくり事業費 7,300万円
- ・私立高等学校あんしん修学支援事業費 32億6,500万円
- ・京の高校生探究パートナーシップ事業費 700万円
- ・妊娠・出産・子育て総合相談体制整備事業費 1,000万円

府市共同で窓口開設(R7.7月予定)。LINE相談を活用し、24時間365日受付

- ・親子誰でも通園支援事業費 2,500万円
- ・先天性代謝異常等検査費 3,000万円
- ・京のジュニアスポーツアカデミー推進事業費 500万円

子どもたちがやりたいスポーツに親しむことができる環境を構築

4 誰もが活躍できる生涯現役・共生の京都

- ・京都府生涯現役クリエイティブセンター事業費 1億8,000万円
- ・障害者雇用促進・活躍応援事業費 1億6,000万円
- ・地域交通総合対策費 3億7,200万円
- ・農林水産業人材確保育成戦略事業費 1,900万円
- ・建設業人材確保対策支援事業費 2億円

※内容は抜粋のため、詳細はHPをご覧ください →



5 共生による環境先進地・京都

- ・住宅脱炭素化促進事業費 2,000万円
- ・ZET-valley推進事業費 1,800万円
- 「ZET-BASE KYOTO」開設予定(R7.4月)
- ・「KYOTO 地球環境の殿堂」事業費 1,300万円
- 国際会議(9/20)に加え、未来会議(4~9月)開催

希望や活力の源泉となる「ゆめ実現」

6 未来を拓く京都産業

- ・金融・経営一体型支援体制強化事業費 5億6,000万円
- ・生産性向上・人手不足対策事業費 8億円
- ・産業創造リデザインゾーン推進事業費 5億5,700万円
- ・伝統産業産地振興拠点創出事業費 9,400万円
- ・京都フードテック推進事業費 3億8,500万円
- ・グローバルスタートアップ・エコシステム構築事業費 8,400万円
- ・京都次世代半導体産業推進事業費 1,500万円

半導体関連学会「VLSI シンポジウム2025」京都開催
 「SEMICON TAIWAN」への京都パビリオン初出展

- ・宇宙市場開拓・連携拡大事業費 100万円

7 文化の力で世界に貢献する京都

- ・京都国際アート市場活性化事業費 1億700万円
- ・文化の心次世代継承事業費 4,500万円
- ・大阪・関西万博フラッグシップ・アクション 6億5,000万円
- ・京都駅周辺エリアまるごとゲートウェイ事業費 1億5,900万円

駅周辺で伝統芸能の実演「京都まるごと博覧会」や展覧会等を開催

- ・きょうとまるごとお茶の博覧会開催費 8,200万円
- ・和食と世界の食サミット開催事業費 5,200万円

「京都 食の博覧会」(5月予定) 万博会場にてシンポジウム(6月予定)

- ・京都の川巡り事業費 1,100万円
- ・「けいはんな万博2025」開催事業費 2億円
- ・Music Fusion in Kyoto 音楽祭事業費 9,400万円

8 交流と連携による活力ある京都

- ・「移住するなら京都」推進事業費 2億9,500万円
- ・京都未来人材育成プロジェクト事業費 2,400万円

人・物・情報・日々の生活の基盤づくり / その他の施策

- ・道路整備等の公共事業 819億9,300万円
- ・医療機関・福祉施設職員処遇改善等推進事業費 41億円
- ・ひとり親家庭奨学金等支給事業費 3億2,800万円
- ・京都府友好提携州省等交流推進事業費 1,700万円
- ・特別支援学校教育環境整備事業費 1億6,000万円
- ・全国都市緑化祭開催準備事業費 500万円
- ・国勢調査費 16億1,000万円

京都府議会の“いま”をお知らせ中

フォローをお願いします



X



YouTube

活動

